

# 10・28 小林章の欧文タイプセミナー

## 「欧文フォントの質問箱」

### 参加者がカスタマイズするセミナー

今年3回目の開催です。今回の大きな特徴は、来場者の専門性やレベルの幅を考慮し、セミナー参加者から要望や質問などを事前にいただき、これに答えるかたちでセミナー内容を構成。  
タイプデザインやロゴ、タイポグラフィなど、広くたくさんの方のみなさんの疑問やお悩みの事例をもとに、その解決法を学ぶセミナーは、リアルな得がたい「教科書」になります。この機会をお見逃しなく。

- ① 欧文タイプの基本、カリグラフィのデモンストレーション。(好評につき今年も実施)
- ② 参加者からの要望や質問から組み立てる多様なレベル・内容のレクチャー。
- ③ ロゴやタイプデザインの事例からサンプルを選んで、クリティック&ブラッシュアップ。(目からウロコ)
- ④ セミナー締めくくりのトークショー:小林章/高岡昌生/菊地敦己/柿木原政広/照沼太佳子(進行)

**小林 章**：欧文書体設計家。写研、字游工房、タイプバンクを経て1997年にフリーランスの欧文書体設計家として独立し、世界の大手フォントメーカーから欧文書体を発表。本文部門を中心に受賞多数。現在ライノタイプ社タイプディレクターとしてドイツに在住。書体デザイン制作指揮と品質検査、新書体の企画立案など。ヘルマン・ツァップ氏やアドリアン・フルティガー氏など書体デザイン界の巨匠と組んで名作書体の改刻など手がける。デザイナー御用達の名著に『欧文書体—その背景と使い方 (美術出版社)』。今年8月に『欧文書体2 定番書体と演出法 (美術出版社)』を刊行。

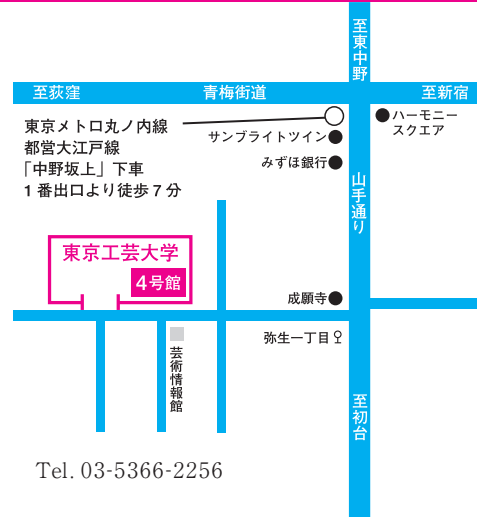
**高岡昌生**：欧文活版印刷「嘉瑞工房」代表取締役。武蔵野美術大学特別講師。ライノタイプ社 日本・極東地域顧問。英国王立芸術協会フェロー。

**菊地敦己**：ブルーマークのアートディレクターとして、ファッションブランドや美術館のVI、書籍、CD、ウェブなどのデザインを手掛ける。

**柿木原政広**：ドラフトを経て、2007年に(株)10を設立。イオン広告キャンペーン、森美術館「日本美術が笑う」告知媒体など、幅広く活躍。

会期：10月28日(火) 3:00pm~6:30pm (2:30pm 開場)  
会場：東京工芸大学 中野キャンパス 4号館「サンワードホール」  
東京都中野区本町 2-9-5 当日の連絡先：090-7227-4440  
主催：NPO 法人 東京タイプディレクターズクラブ  
協力：ライノタイプ社/東京工芸大学/嘉瑞工房/美術出版社  
参加料：一般 2500 円/学生 1500 円 (先着・事前申込制)

● お申し込み・お問い合わせ：東京 TDC 事務局 info@tdctokyo.org  
お名前・職業(学校)・お電話番号・参加会場(東京)を必ず明記の上、「タイプ・セミナー参加申し込み」のサブジェクト名で、メールにてお申し込みください。この申込メールに、セミナーで聞きたい内容・質問あるいはお悩みをお書きください。



**TOKYOTDC** 〒160-0015 東京都新宿区大京町 31 東苑ビル 701 Tel. 03-5366-2256